

■第2回 ビジネスアーカイブセミナー

Business
Archives
Lab.

豪雨や火災、そして南海トラフ地震……

万が一に備え、企業資料の
保全はどうしておくべきか。

セミナーのお知らせ

参加無料

2019年5月17日(金) 13:30-15:30

岡山県立図書館(岡山市北区丸の内)サークル活動室
定員30名 ※会場の都合によりあらかじめお申し込みください。

企業資料は、その企業の大切な歴史そのものであり、地域にとっても貴重な記録であり、財産でもあります。本セミナーは、西日本豪雨災害で被災した倉敷市真備町の企業(株)テオリの中山代表取締役を講師に迎え、企業アーカイブの構築や資料のデジタル化について考えます。

講演テーマ

「災害と企業アーカイブ」

講師 中山正明
(株式会社テオリ代表取締役)



株式会社テオリの被災状況(2019年7月)

開催要領

日時 2019年5月17日(金) 13:30~15:30(受付13:00~)
 会場 岡山県立図書館(岡山市北区丸の内)サークル活動室
 定員 30名
 参加費 無料(会場の都合によりあらかじめお申し込みください)



【第1部】

講演

「災害と企業アーカイブ」

講師 中山正明(株式会社テオリ代表取締役)

プロフィール 中山正明(なかやま・まさあき)

昭和29年(1954)岡山県高梁市生まれ。昭和63年(1988)家具メーカー退職後、有限会社テオリ設立。平成10年(1998)株式会社テオリに組織変更し、代表取締役に就任。テオリは、竹の集成材を使ったインテリア家具や雑貨、陳列什器などを製造・販売している。
 倉敷法人会真備支部長。真備船徳商工会副会長。倉敷市復興委員会(平成30年7月豪雨)真備地区復興計画策定委員。第77回山陽新聞賞(産業功労)受賞。

【第2部】

ご提案

「企業資料の保全一紙からデジタルデータへ」

提案者 金澤健吾(デジタル・アーキビスト)

企業アーカイブチェックリスト

※以下のチェックリストの備えができていたら、このセミナーへの参加は不要です。

- 万が一の事態にどうするかの情報収集をして、普段から社内の各部署と話し合いを重ねて対応はできている。
- 災害に遭ったときを想定してシュミレーションを考え、実際の訓練も何度か実施している。
- 重要資料のリストを作成し、現物の紛失を想定してデジタル化し保管している。

主催:株式会社吉備人/Business Archives Lab.

問い合わせ・参加申し込み:株式会社吉備人

電話 086-235-3456 ファクス 086-234-3210

メール partner@kibito.co.jp ウェブサイト www.business-archives.jp

参加申込書

FAX. 086-234-3210

フリガナ 会社名	電話番号	
	ファクス	
所在地	□□□□ □□□□	
参加者氏名	役職名 氏名	役職名 氏名
	役職名 氏名	役職名 氏名